

阪神北県民局 「県民交流広場交流会」で 事例報告をしました



宝塚市立地域利用施設西谷会館で県民交流広場事業の活動報告会が3月13日(土)に開催された。昨年11月22日、加東市で「コミュニティアワード2009」が開催され、ユニークな取り組みやモデル的な活動のパネル展示、映像紹介が行なわれたが、その様子などについて当会が報告した。

鳥取市「日進小学校地区 まちづくり協議会」と交流会



全国的に地方分権が進む中、一昨年11月鳥取市・醇風地区が先進的まちづくり協議会の研修視察で当会を来訪された。3月11日(木)再び鳥取市から日進地区まちづくり協議会の21名が来訪され、研修と併せて親密な交流会を行なった。

宝塚市自治会連合会の ホームページが開設されました



今日の情報化社会は、ホームページによる情報発信が不可欠となっています。遅ればせながら2月25日に21の単位自治会が加入する宝塚市自治会連合会独自のホームページが開設されました。URLは、http://www.tucaa.jpです。「逆瀬台自治会」から、毎年盛大に行なわれている「桜まつり」の記事が掲載されています。

文化庁委嘱事業 「伝統文化こども教室」が 事業仕分けでなくなりしました

平成17年度から毎月継続してやってきました文化庁委嘱事業「ゆずり葉コミュニティいけばな子ども教室」が、この度の政府の事業仕分けでなくなりしました。「伝統文化こども教室事業」は、日本の長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた伝統文化を、将来にわたって確実に継承し、発展させることです。子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度を育て、豊かな人間性を涵養することを目的としてやってきました。子どもたちの健全育成を図る立場から、この理念のもと、今後も継続事業として進展させて行きたいと思えます。

アヴェルデ 清水 73-8272
光ガ丘 大槻 72-2856

「ドアtoドア」の「デマンド 交通網」の整備を！

平成22年2月28日(日)宝塚市まちづくりフォーラムが開催されました。そのテーマとして「宝塚のまちがどんなまちになって欲しいか、宝塚をどうしたいか」について「宝塚市・まちづくりフォーラム実行委員会」が全市民を対象にメッセージを募集しました。その結果50人、79件の応募がありました。その中から8つの優秀作が選ばれ、その中に自治会連合会賞の「ドアtoドアのデマンド交通網の整備を」があります。そのメッセージは、次の通りです。

『乗客の要望(デマンド)に応じて走る路線バス(主にワゴン車を使用)。予約を受け、自宅と目的地をドアtoドアで結ぶサービス。高齢者が利用しやすいことから導入する自治体が増え、国土交通省によると、08年4月時点で、24市町村にのぼっているそうです。宝塚市は丘陵地が多いこともあり導入を切望します。』
当校区も緊急課題・急坂の街に「移動手段」の具体化が言われ、行政は第5次宝塚市総合計画に市民の声を反映させる」と盛んに言っています。ぜひ実行を!!

会員募集!

「楽しいウクレレ」を一緒に楽しみませんか

- ◎ 日程 毎月 第1・3土曜日
- ◎ 場所 宝塚市立中央公民館
- ◎ 時間 AM10:00~12:00

サークル・ホロホロ

代表 江畑
光ガ丘在住
TEL 74-3490

一度見学にお越し下さい

地域児童育成会(学童保育)に 対する空き教室の活用について

宝塚市自治会連合会理事研修会「市長・教育長懇談会」が、平成22年2月19日(金)に開催され、その中で中村会長から次の意見書が出されました。平成22年度から宝塚第一小学校の待機児童対策として、学童保育事業を聖隷が野上児童館で実施するとのことである。市は国・県の補助金をもらう単なる窓口となつて、その事業が聖隷に委託される。平成19年度に「子ども施策元年」ということで「子ども未来部」が新設された。学童保育を同部が担当しており、行財政改革の立場から、教育委員会と子ども未来部の事業仕分けが必要と思える。学童保育の場所は、条例でも小学校になっており、宝塚第一小学校の放課後のガラガラ空き教室を何故、使用しないのか問題である。あとは専任指導員がポイントとなる。補助的スタッフについては、保護者・地域ボランティアの醸成を図り、受益者負担、自己責任を基本として智慧と工夫をださなければ成果のある行財政改革ができないだろう。22年度、逆瀬台小学校は、21年度に比べ40%増の新入生があつて待機児童対策が必要となる。



「育成会の児童・小1年〜3年生」 の見守り同伴下校

私達の活動が先行き心配 になってきました

夕方、何人かの児童が児童育成会に参加した後、班に分かれて自宅に向かっています。この児童たちを安全に家まで送り届けていますが、現在ボランティアに参加されている方は5名で、40名近い児童を送っています。しかし、高齢者ばかりですので、病気になるれたりしてボランティア参加が減ってきており、見通しを暗くしております。

ぜひ、ボランティアに 「参加下さい」

私達がこのような活動を始めた動機は、4〜5年前立て続けに低学年の小学生が事件に巻き込まれて死亡したことでした。加古川での事件・広島県での事件・栃木県での事件、それに秋田県では母親が自分の子を死なせてしまうというような悲惨な事件でした。私達の町ではこのような事件は起こしてはならないと強く思いました。

4年前、当時の逆瀬台小学校の上田校長に相談に行きました。校長先生は「どうぞ頑張ってください。」とタスキをくださって励まして下さいました。活動を続けていくなかで次のようなことがありました。光ガ丘地区でパトロールしていますと、中学生のグループの一人が、道路標識をとりつけてある鉄柱を両手で握ってゆすっていました。私はそれを見て強く注意しました。その後「気をつけて帰らなさい。」と言うと穏やかな表情でうなずいて家に向かいました。何日かしてそのグループかと思われる同じようなグループの一人が「ご苦労様、頑張ってください。」と私に言葉をかけてくれたのです。内心驚くとともに嬉しかったですね。こんなこともありました。やはり光ガ丘地区で足をひきずって痛そうに歩いていた中学生がいました。私は見かねて「どうしたの送っていかうか。」と言いますと、「大丈夫です。」と気丈に言うのです。しかし、あまり痛そうでしたので家に車をとり帰ってその中学生を送りました。後日、ご両親がお礼を言っていました。



丘地区で足をひきずって痛そうに歩いていた中学生がいました。私は見かねて「どうしたの送っていかうか。」と言いますと、「大丈夫です。」と気丈に言うのです。しかし、あまり痛そうでしたので家に車をとり帰ってその中学生を送りました。後日、ご両親がお礼を言っていました。

広報スタッフの ボランティアをお願いします

広報紙の編集、ブログの更新、イベントのパネル展示などビデオカメラ・デジタルカメラ・パソコンの活用による広報活動を、初心者も含めてご参加をお待ちしています!!

児童育成会 参加児童を
送り同行 活動をする
児童見守り 児童を
地域家庭連絡 児童を
連絡先 光ガ丘自治会
徳高 電話 71-9074